

池袋学

東京芸術劇場 × 立教大学 連携講座

住む人、働く人、学ぶ人、遊ぶ人みんなが参加できる池袋学が開講

春季

「池袋モンパルナスの時代 ~街が美術を育んだ~」

日時:2014年5月18日(日) 14時~16時
講師:尾崎真人(京都市美術館 学芸課長)

「トキワ荘の時代 ~『漫画』から『マンガ』へ~」

日時:2014年5月24日(土) 14時~16時
講師:丸山 昭(編集者)

「池袋のセゾン文化 ~文化戦略から演劇祭まで~」

日時:2014年6月8日(日) 14時~16時
講師:八木忠栄(詩人・元セゾン文化財団常務理事)

会場:いずれも東京芸術劇場 シンフォニースペース

秋季

「池袋学と自由の発信 ~池袋周辺地域の文化土壌~」

日時:2014年10月1日(水) 19時~21時
講師:渡辺憲司(立教大学名誉教授)

「都市観光地としての池袋」

日時:2014年10月29日(水) 19時~21時
講師:安島博幸(立教大学 観光学部教授)

「持続可能な未来を指向した池袋学をめざして」

日時:2014年11月26日(水) 19時~21時
講師:阿部治(立教大学 社会学部教授)

会場:いずれも立教大学14号館D201教室

参加料:各回1,000円(資料代として)

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) / 立教大学
後援:豊島区

協力:NPO法人ゼファー池袋まちづくり / 立教大学ESD研究所 / トキワ荘通り協働プロジェクト

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre



立教大学



平成26年度 文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業

池袋学

東京芸術劇場 × 立教大学 連携講座

池袋に住む人、暮らす人、池袋で働く人、学ぶ人、池袋を訪れる人、みんなが参加できる池袋学を開講します。このまちの由来や歴史、文化、暮らし、町並みなど、様々な視点で池袋を語ります。そして、これからの池袋について考えます。

2014年、シリーズ講座がいよいよ開講。文化、歴史、観光、環境と多彩なラインナップでお届けします。全講座制覇もよし、興味にまかせてつまみ食いするもよし、それぞれの楽しみ方を発見してください！

定員：70名 ※先着順・定員に達し次第、お申込みを締め切ります。

参加料：各回1,000円(資料代として)

お申込み方法

東京芸術劇場HP、立教大学HP上の「お申込みフォーム」にご記入のうえ送信ください。

※ご希望の講座の他に、連絡先アドレスなどの登録(無料)が必要です。

※お申込み時にいただく個人情報は本講座以外の目的には使用しません。

春季
*

「池袋モンパルナスの時代 ~街が美術を育んだ~」

日時：2014年5月18日(日) 14時~16時

講師：尾崎真人(京都市美術館 学芸課長)

1930年代の池袋は、新進芸術家が集う熱気のある街でした。画家、彫刻家、詩人、音楽家が住む「アトリエ村」があり、夜の街にも芸術家が集まることで、パリになぞらえて「池袋モンパルナス」と呼ばれていました。アーティストックでありながら複雑な雰囲気の中で、どのような作品が生み出されていったのでしょうか。30年に渡り池袋ゆかりの画家たちを紹介し続ける学芸員 尾崎真人氏が、当時の池袋を振り返ります。

「トキワ荘の時代 ~『漫画』から『マンガ』へ~」

日時：2014年5月24日(土) 14時~16時

講師：丸山 昭(編集者)

1950年代の豊島区は椎名町(現・南長崎)。池袋にほど近いこの地に、若きマンガ家たちが住むアパートがありました。手塚治虫、藤子不二雄、石ノ森章太郎、赤塚不二夫、水野英子……この「トキワ荘」に集まったキラ星のごとき才能たちが、「たあいのない子供の娯楽」だった「漫画」を「文化」とまで評価される世界の「マンガ」へと育て上げました。編集者として彼らの創造の現場に立ち会い、「トキワ荘美録~手塚治虫と漫画家たちの青春~」を著した丸山昭氏が、生きたマンガ史を語ります。

「池袋のセゾン文化 ~文化戦略から演劇祭まで~」

日時：2014年6月8日(日) 14時~16時

講師：八木忠栄(詩人・元セゾン文化財団常務理事)

1970年代以降、セゾングループは美術館や劇場など、数多くの文化施設をつくりました。池袋にも西武美術館、今や伝説的存在となったスタジオ200があり、新しい芸術のハードとソフトの創造発信拠点として、高感度な若者の注目を集めていました。企業戦略と結びついた文化事業は、街にも大きな影響を与えました。「セゾン文化」の担い手の1人であり、「東京国際演劇祭'88池袋」事務局長だった八木忠栄氏が、池袋が文化的に輝いた時代を語ります。

会場：いずれも東京芸術劇場 シンフォニースペース

秋季
*

「池袋学と自由の発信 ~池袋周辺地域の文化土壌~」

日時：2014年10月1日(水) 19時~21時

講師：渡辺憲司(立教大学名誉教授)

近代以前の武蔵野台地における池袋のイメージを考えながら、江戸時代における寺院文化・園芸文化、明治に至って開化される池袋周辺の郊外文化、さらに、個性的な教育方針を貫いた、帝国小学校・児童の村小学校・家庭学校・滝野川学園・成蹊学園などや、自由主義を標榜する、自由学園・立教大学・明治女学校などの学校群が集結するこの地域の教育土壌について概観しながら、「池袋学」の可能性について考えます。

「都市観光地としての池袋」

日時：2014年10月29日(水) 19時~21時

講師：安島博幸(立教大学 観光学部教授)

池袋は観光地でしょうか？ 我々は、アートを見たり、美食を楽しむためにパリやニューヨークに旅行します。それは都市観光であり、その中味は文化体験が中心です。他県から東京へは、スカイツリー、皇居、浅草など観光名所を訪れるばかりでなく、アート、音楽、映画、買物、飲食のためにたくさんの観光客が訪れています。東京は日本一の観光地と言っても過言ではありません。さて、池袋は観光地として自らをどう位置づけたいのでしょうか。

「持続可能な未来を指向した池袋学をめざして」

日時：2014年11月26日(水) 19時~21時

講師：阿部治(立教大学 社会学部教授)

地球温暖化に伴う気候変動は各地で豪雨や竜巻をもたらしていますが、池袋などの都市部でも今後ますます深刻な問題となるでしょう。また、食料や医薬品、水などの生態系サービスを提供してくれる生物多様性は、都市住民にはなじみが薄いのですが、生存に不可欠なものです。低炭素社会や循環、生物多様性といった環境の視点から、池袋は今後どのような街をめざしていくのか。住民参加の街づくりを含めた身近な視点を踏まえて、持続可能な未来を指向した池袋学を構想します。

会場：いずれも立教大学14号館D201教室

東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

Tel. 03(5391)2111 <http://www.geigeki.jp/>

JR、東京メトロ、東武鉄道、西武鉄道池袋駅西口徒歩2分。

池袋駅地下2b出口直結。

立教大学

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

Tel. 03(3985)2202 (広報課) <http://www.rikkyo.ac.jp/>

JR、東京メトロ、東武鉄道、西武鉄道池袋駅西口徒歩7分。

劇場内の一時託児がご利用いただけます。

講座の1週間前までにお申込みください(有料、定員制)。

芸術キッズルーム ミューズ 03-3981-7003

お問合せ ●東京芸術劇場 教育普及担当：03(5391)2116 ●立教大学 教学連携課：03(3985)2204

